令和８年度　玄海学園運営協議会〔第２回〕議事録

【 開会行事 】　15:00～15:10

〇はじめの言葉

(1) 会長挨拶

玄海学園運営協議会 会長 中野 和久 様

(2) 日程説明　宗像市立玄海小学校 教頭 堤 紀子

【 説明1 】　15:10～15:30

スマホ利用に関わる児童生徒を取り巻く現状について

～宗像市中学生会議に向けた生徒指導の取組～

学校ができることは何なのか。

家庭ができることは何なのか。

地域ができることは何なのかを話し合っていただきたい。

動画視聴４分程度

→家庭でルールを作ったり守ったりすることは、話し合うことが大切だ。

・最終的には自分で判断して使うことが大切

・大人もこのことを勉強することが大切

・本日は、①②③でできることを話し合っていただきたい。

・学校では、職員室でスマホを預ける。

家で使うことが多いので、スマホの使い方を話し合ってほしい。

・小学校の段階から、課金などの問題が発生している。

・スマホの地域の役割の具体は？

→地域のイベントを開催して、スマホでつながるのではなく、直接つながること。

【 熟議1 】　15:30～16:00

「児童生徒をまんなかにしたスマホ利用の課題解決を目指した

家庭・地域・学校それぞれの実働に向けて」

・家庭・地域から見た児童生徒のスマホ利用に係る実状について

・共有した課題の解決に向けた具体的取組の見通しについて

グループ１・２(別紙参照)

〇意見交流、報告、質疑応答

どこでどれくらい使っているか

スマホに特化したアンケートをとっていない

ビデオにヒントがたくさんあった

【 熟議２ 】　16:00 ～16:20

「重点目標達成に向けて、家庭・地域ができることの実現に向けて」

グループ１・２

〇意見交流、報告、感想交流

それぞれのコミュニティで新しく作る、のではなく今あるものをすこしアレンジするだけでいい。実体験の積み重ねが重要。

池野地域町づくり計画　クリーン事業　学校行事にするのはどうか

以前は筏下りもあった　　川に親しみを持っている学校の例　釣川

【 まとめ 】　16:20～16:30

〇福岡教育大学大学院　特任教授　　野口　博明　様

・不易と流行…ソサイティ 1.0～2.0 農耕時代～3.0 大量生産～4.0～5.0AI

課題を提出させるときは AI を使いなさいとしている。AI の授業を入れる。

経済産業省が関係して、教科書作り、教育課程を作成している。

運動できない・鉛筆持てない子が増える。

不易・・・家庭（守る）と学校(教育すること)と地域

子どもたちの決定、決議、失敗が大事

おとなも子供も狙われている、というスマホの実態。危機感。

実体験（登山・自然など）をやっていない家庭が多い。家庭でやらず、学校任せ。

次にはバーチャル体験も入る。学校でできないことは地域にお願いする。

福岡県警のスマホの動画もある。

⇒地域の出番 経験は一生もの

【 閉会行事 】 16:35～16:50

〇教育委員会挨拶 宗像市教育委員会 指導主事 荒木様

・重点目標を達成させるには、スマホの使い方を子どもがデザインして大人がサポートすることが意見を聞いて思った。今後、今回の熟議の内容が実践することが大切だ。PTA が提案してもよい。何らかの企画があればよい。ゆくゆくは、子どもにもイベントの企画側として参加してもらう必要があるのでは、この中で、社会の一員としての意識が育つのではと思う。

・それぞれの立場で、他の会議などで、今回の内容を周りの人に周知してみては。

〇学園長挨拶 宗像市立玄海中学校 校長 南 直純

・1 学期間、ご協力ありがとうございました。

・スマホについて、児童生徒の行動が変わることがゴールでは。行動変容を望んでい る。そのためには、知識と経験が必要。

・ヒューマンネットワークを広げていただきたい。